

# 令和6年度 小垣江小学校 学校評価アンケート結果

| 番 | 質問内容<br>(上段:保護者)<br>(下段:児童)  | 回答者 | <div> <div></div> あてはまる <div></div> どちらかといえばあてはまる <div></div> どちらかといえばあてはまらない <div></div> あてはまらない <div></div> わからない </div> | ※グラフの「あてはまる」「どちらかといえ<br>ばあてはまる」を合わせた割合が、<br>80%以上をA、60%以上をB、それ<br>以下をCと判断しました。 |
|---|--|-----|--|--|
| 1 | 学校は、お子さんに勉強<br>や運動などで楽しんで活<br>躍する場を作っていますか。                        | 保護者 |  | <div>A</div> <div>A</div> <div>A</div>   |
|   | 学校は楽しく、勉強や運<br>動など学校生活は充実<br>していますか。                               | 児童  |  | <div>A</div> <div>A</div> <div>A</div>   |
| 2 | 学校は、子どもたちが自<br>他の命を大切にする活<br>動を積極的に行っている<br>と感じますか。                | 保護者 |  | <div>B</div> <div>B</div> <div>B</div>   |
|   | 自分や友達、身近な生<br>きものの命を大切にし、<br>友達に思いやりの気持<br>ちをもって接するよう心<br>がけていますか。 | 児童  |  | <div>A</div> <div>A</div> <div>A</div>   |
| 3 | お子さんは、自分自身で<br>よいところがあると思っ<br>ていると思いますか。                           | 保護者 |  | <div>A</div> <div>A</div> <div>A</div>   |
|   | 自分にはよいところがあ<br>ると思いますか。  | 児童  |  | <div>B</div> <div>B</div> <div>B</div>   |
| 4 | 先生はお子さんのよいと<br>ころを認めたり、褒めたり<br>してると感じますか。                          | 保護者 |  | <div>A</div> <div>A</div> <div>B</div>   |
|   | 先生たちは、自分がかん<br>ばったとき、認めたり、ほ<br>めたりしてくれますか？                         | 児童  |  | <div>A</div> <div>A</div> <div>B</div>   |

保護者・児童ともに8割以上が、学校は楽しく、充実できる場所だと感じている。  
児童の肯定的な回答が昨年度より減少している。今後、児童に楽しく充実できる学校と感じてもらえるように、日々の教育活動を進めていきたい。また、学校が温かく、一人一人の居場所や活躍の場をつくるなど、きめ細やかな配慮を継続していき、温かい学校を目指したい。

「分からない」と答えた保護者の割合が昨年度より減ってきた。保護者に比べ、児童の肯定的な回答が多いものの「分からない」と約7%あった。今後さらに「命を大切にする行動」や「思いやりのある行動」を価値付け、温かい心を育む教育を積極的に行うとともに、保護者にも引き続き活動の内容を積極的に伝えていきたい。

「あてはまる」「どちらかといえ  
ばあてはまる」と回答した保護者が89%と年々増加している。児童は76%(昨年も76%)が肯定的な回答をしているものの今年度も15%(昨年も15%)の児童が「分からない」と答えている。これは、児童自身が自分のよさに気付く機会が必要であると考え。教師も含めて周りの大人が、子どもたちのよさを認め、褒めること等により、自己肯定感がもてる子どもになるように支援していきたい。

保護者の肯定的な回答が微減し、「わからない」が13%と増えている。「あてはまる」「どちらかといえ  
ばあてはまる」と回答した児童が79%と減少した。教師が児童のよいところを認めたり、褒めたりすることは、児童の自己肯定感・自己有用感の高まりにつながるものと考え。今後も児童が自信をもって様々なことにチャレンジさせていきたい。

| 番 | 質問内容<br>(上段:保護者)<br>(下段:児童)                            | 回答者 | <div> <div></div>あてはまる <div></div>どちらかといえばあてはまる <div></div>どちらかといえばあてはまらない <div></div>あてはまらない <div></div>わからない </div> | ※グラフの「あてはまる」「どちらかといえ<br>ばあてはまる」を合わせた割合が、<br>80%以上をA、60%以上をB、それ<br>以下をCと判断しました。 |
|---|--|-----|---|--|
| 5 | お子さんは、ありがとう<br>と言えるようになってきて<br>いますか。                   | 保護者 |   | A<br>A<br>A  |
|   | ありがとうが言えていま<br>すか。                                     | 児童  |   | A<br>A<br>A  |
| 6 | お子さんは、なかよく事<br>故に遭わないように登下<br>校していますか。                 | 保護者 |   | A<br>A<br>A  |
|   | 交通ルールを守って、な<br>かよく登下校しています<br>か。                       | 児童  |   | A<br>A<br>A  |
| 7 | 先生は分かりやすい授<br>業を工夫して教えてくれ<br>ていると思いますか。                | 保護者 |   | B<br>B<br>B  |
|   | 先生は、分かりやすい授<br>業を工夫して教えてくれ<br>ていますか。                   | 児童  |   | A<br>A<br>A  |
| 8 | お子さんの話の様子か<br>ら、学校はいじめ問題に<br>も素早く対応していると<br>感じますか。     | 保護者 |   | C<br>C<br>C  |
|   | 友だちと楽しく生活でき<br>ており、いじめはいけな<br>いという気持ちで毎日生<br>活をしていますか。 | 児童  |   | A<br>A<br>A  |

今年度も保護者・児童ともに、肯定的な回答が多かった。児童会活動は感謝を伝える「みんなで咲かせよう！ガーベラのお花畑」の企画を行い、学校全体に「ありがとう」を大切にする心が醸成されてきている。今後も、教師が児童の「ありがとう」の言葉を認め、褒め、大人も進んで感謝の言葉を述べるようにしたい。それにより、「ありがとう」が言える子がさらに育っていくものとする。

保護者・児童共に、なかよく事故に遭わないように登下校していると毎年9割近い肯定的な回答が多かった。交通指導員さんや地域の方の毎日の見守り、0の日の保護者の方のあいさつ運動など皆さんの温かい見守りのおかげであると分析する。今後も児童がなかよく安全に登下校できるように、安全指導や通学団等でのトラブルに対して初期対応等、児童に寄り添った指導を継続していきたい。

保護者の「分からない」の回答が毎年約20%と高い。今後は、積極的に授業公開をするなどして、保護者の理解を得られるようにしていきたい。児童の肯定的な回答が多いものの、年々低下していくことも気がかりである。児童の実態に合わせてじっくりと授業の進めていくことや、児童同士による教え合いなど、一斉授業型から一人一人に合った学び方を選択できる『学び合い』の研鑽にも努めていきたい。

児童の肯定的な回答が、80%を超え、いじめに対する意識が高いことがうかがえる。それに対し保護者は、昨年度と同様に「分からない」という回答の高さが目立った。いじめ問題は保護者との協力が不可欠である。保護者からの信頼が得られるように、学校で起きたことや対応について学校全体の問題として捉えていきたい。今後も生活アンケートや児童の訴え、保護者からの情報などに真摯に耳を傾け、全職員で情報の共有を図りながら対応をしていきたい。



| 番  | 質問内容<br>(上段:保護者)<br>(下段:児童)  | 回答者 | <div> <div></div>あてはまる <div></div>どちらかといえばあてはまる <div></div>どちらかといえばあてはまらない <div></div>あてはまらない <div></div>わからない </div> | ※グラフの「あてはまる」「どちらかといえ<br>ばあてはまる」を合わせた割合が、<br>80%以上をA、60%以上をB、それ<br>以下をCと判断しました。 |
|----|--|-----|---|--|
| 9  | 授業参観やお子さんの話から、道徳の授業や心の教育がしっかりと行われていると感じますか。                          | 保護者 |   | B<br>B<br>B  |
|    | 道徳の授業では、自分の意見を言ったり友だちの意見を聞いたりして、よく考えている。また、道徳の授業で学んだことを実行していますか。     | 児童  |   | B<br>B<br>A  |
| 10 | お子さんは栄養のバランスを意識して、家庭の食事や給食を食べていますか。                                  | 保護者 |   | A<br>A<br>A  |
|    | 食まるファイブを意識するなどして、食事(給食)をバランスよく食べていますか。                               | 児童  |   | A<br>A<br>A  |
| 11 | 長放課や体育の授業、運動会や部活動などを通して、学校は子どもたちの体力向上に努めていると感じますか。                   | 保護者 |   | A<br>A<br>A  |
|    | 長放課や運動会、体育の授業、部活動で体を動かし、体力がついてきたと感じますか。                              | 児童  |   | A<br>A<br>A  |
| 12 | 学校は、ホームページや学校だより、行事予定表、学年だより、きずなメールなどを通して、学校の様子がよくわかるように保護者に伝えていますか。 | 保護者 |   | A<br>A<br>A  |
|    | ホームページや学校だより、行事予定表、学年だよりや毎日の連絡などで、学校や学年の行事の予定がよく分かりますか。              | 児童  |   | B<br>A<br>B  |